



同窓会会長
岡部 文雄
衛生技術科 21期生

同窓生のみなさま、いつも同窓会活動にご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延で社会経済活動への影響がみられますが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

私事ですが、コロナ禍で家時間が増えたのでホームベーカリーを購入し、パン作りを始めました。最初はレシピ通りに作って楽しんでいましたが、「次は強力粉の種類を変えてみよう」、次は「イーストの種類を変えて発酵時間を変えてみよう」、パンにたっぷり具材を入れたいので、「ホームベーカリーは発酵までにして成形・焼きはオーブンで行おう」等、だんだん深みにハマっています。

同窓会としては今年も行事がなく理事一同寂しい1年でした。理事会も多くの人数で集まることができず、現地参加と ZOOM 参加のハイブリッド会議を開催して来ましたが。同窓会総会については、現時点（3月初旬）で新型コロナウイルス感染症の収束の目処が立たず、学校をお借りして多くの同窓会会員の方に集まって頂く事はできませんので、2022 年度（2022 年 6 月）の同窓会総会は、昨年に引き続き中止させていただくことになりました。申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いします。

理事一同、皆様のご意見やお力をお借りしながら、大学同窓会をさらに活性化したいと思っています。よろしくお願い致します。

3 回目のワクチン接種も進んでおり、平穏な生活に戻れる日々が遠くないと願いつつ、皆様にお会い出来ることを楽しみにしています。それまで、くれぐれもご自愛下さい。



学校法人玉田学園
理事長
旭 次郎

「ときわびと」ということばはいささか古めかしい語感がします。

私と自分の出身大学の関わりは、年会費を収め、会報が届くだけで特別の感情も思いもありません。しかし「ときわびと」ということばには、私にとって、あるいは本学にとって大きな意味あいを持っています。それは本学の創設時の雰囲気や教職員と学生との関わりを示すことばだと思うからです。当時は2学科のみで学生数も少なく校舎も2棟だけのまことにこじんまりした大学でした。学生の出身地や境遇もまちまちでした。それでも行事の時などは全学生・教職員が一体となり、国試の季節になれば皆が協力し合って取り組んでいました。温かく穏やかな雰囲気の中で教職員も加わり、お互いに仲間としてがんばっていきこうという気持ちに溢れた大学でした。その時に生まれたことばが「ときわびと」でした。「ときわびと」は温かく、やさしく、仲間を大切に、前向きに生きる集団を示すことばです。誰が言い出したのかも解らないが本学にとっては大切なキーワードだったのです。

大学に集う人が、あらためて「ときわびと」たらんことを切に願っています。



神戸常盤大学学長
濱田 道夫

コロナ禍が始まってもう2年以上になりますが、まだまだ終息の気配は見えてきません。with コロナの生活にもだいぶ慣れてきたとはいえ、やはり不便さを感じずにはられません。学生たちはマスクをつけたまま、息切れすることなく学校までの坂道を登っていきます。その限りでは元気なキャンパスは保たれているようです。

一昨年の診療放射線学科の開設といい、この4月からの口腔保健学科の4年制化といい、コロナ禍のなかで本学はひとまわり大きくなってきました。将来が楽しみです。

キャンパスレポート

口腔保健学科四年制への移行及び歯科診療所リニューアルについて

2022 年 4 月に、神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科が4年制へ移行し、新たに保健科学部の一員として加わるようになりました。

口腔保健学科は兵庫県内初の歯科衛生士養成短期大学として 2008 年に開設され、以来 12 年以上経過する中、約 700 名の卒業生を社会に輩出してきました。一方、多様化する歯科衛生士の職場環境に応じた歯科衛生教育の充実を図るべく、2020 年 8 月から四大化に向けた開設準備を進めてまいりました。その最中、日本国内で Covid-19（コロナウイルス）が猛威を振るい、対面授業の制限、実習施設の受け入れが困難や、就職活動の制限など、学生の教育環境は新たな局面を迎え、改めて教育・実習内容の充実、またキャリア教育の必要性を感じるようになりました。こうした環境の変化を踏まえ、口腔保健学科における4年制教育では、本学の建学の精神である「広く学術の基礎となる知識及び技能を授けるとともに、深く専門の学問及び技術を研究・教授して、知的、道徳的に優れた技術者を育成し、また成果を社会に還元することにより、国家及び地域社会の発展に寄与すること。」に則り、私立の4年制歯科衛生士養成校として初の歯科診療所となるべく、従来の歯科診療所を大幅にリニューアルし、臨床現場をより身近なものとし、学生の実習やリカレント教育の場として、今まで以上の充実を図りました。

また、ワークキャリアプランニングやインターンシップをカリキュラムに組み入れ、自らのワーク・ライフ・バランスを計画できるよう支援する体制も整えました。さらに、意欲的な学生向けに輝かしい未来が訪れるよう、保育士、歯科医療事務資格、食育指導士や食生活アドバイザーの資格取得を目指せるコースも設定しました。

新たに4年制として出発する口腔保健学科は、リニューアルされる歯科診療所を新たな力として、他に類を見ない歯科衛生士養成教育を実践し、大学教育としての使命を果たすべく、教員一同、鋭意努力して参りますので、皆様からの温かいご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い致します。

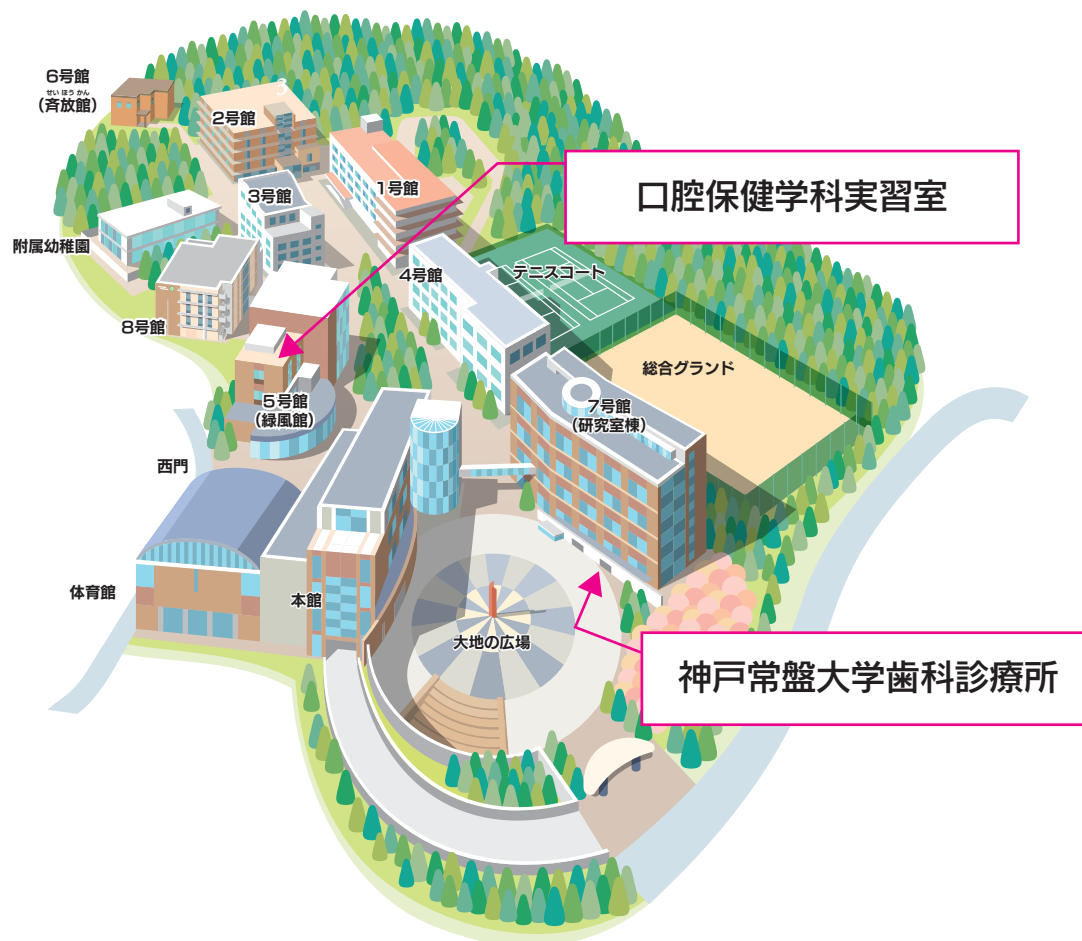


図 1. 大学外観と口腔保健学科実習室と歯科診療所の位置

新しくなる歯科診療所

口腔保健学科の四大化（4年制教育）に併せて、歯科診療所は2022年1月から3月にかけて大規模な改修工事を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の下、実習先の確保は多くの養成学校における喫緊の課題であり、他の養成校も様々な工夫されていますが、本学においては他の養成校にはない歯科診療所があり、このような困難な学修環境においても、本学の大きな強みとなっております。本学では過去2年間、歯科診療所での実習を多く組むことで、学生たちに変わらぬ実習環境を提供してきました。4年制教育では、さらに充実した学修環境を提供するために、歯科診療所を保険診療が可能な施設とし、学内の福利厚生を充実させるとともに、一般診療所に類似したより臨床現場に即した環境を学内に実現することを目指します。

歯科診療所には、外部からの入り口をバリアフリー化（図2）し、車いすの方でもそのまま診療を受けることができるユニバーサルデザインの診療台を導入しました。また、最新式の歯科用CTやレントゲン撮影設備を整備し、画像解析能力を高めました。さらに、感染対策も充実させ、世界基準において最も厳しいクラスB規格の滅菌システムを導入し、院内感染予防の質を向上させます。このほか診療室内環境として、各診療台の敷居的な位置にあった備え付けキャビネットを可動式に変え、コンパクトでありながら広い空間をイメージさせる診療所になりました（図3）。



図2. 診療室外観
正面入り口をバリアフリー化
窓越しに診療風景が垣間見ることができます。

図3. 診療室内観
手前にユニバーサルデザインの診療台が配置され、
奥まで見渡せる広い空間が生まれます。



また歯科診療所では、一般歯科診療に加え、口腔外科や矯正歯科等の専門的な診療も行えるようになります。診療スタッフは現役の第一線の歯科医療現場で活躍される本学の教員が担当し、講義や演習で培われた内容をそのまま診療室で体現でき、知識と臨床の「切れ目のない」、「説得力のある」教育を用意して、新入生を迎えることになります。

近年、お口に対する健康意識が高まっていますが、多くの大学では学生に対して歯科健診が行われていません。本学では、学生の健康を守る一環として、従来から新入生を対象に歯科健診を行ってまいりました。今後は、歯科健診後のお口の管理も希望者には積極的に行うことができるため、ご家族とともに歯科診療所をご利用いただければ幸いです。

ときわびとのつぶやき

■正会員

衛生技術科11期生

芦田 英之

京都府

全国からつぶやきが
集まりました!



臨床検査技師として自信を持って働いています。勤務先では、先輩や後輩との出会いも多くありました。2010 年 11 月 21 日に日本細胞診断学細胞検査士会から「国際交流賞」を授与されました。「貴殿は長期の国際交流を支援し細胞学会に多大なる貢献をされました。その功労を称え授与します」とのこと。

過去には生化学・血液・細菌・生理検査も経験しました。全ての検査が私の血となり肉になりました。検査から学べる事は多くあります。後輩の皆さん、どの検査に従事しても、患者様の事を考えて正確な検査をして下さいね。臨床検査は大事な仕事です。日々の勉強と真摯な対応です。

写真ですが、国際交流賞受賞のときです。6年前と3年前には常盤短期大学 11 期生の同期会を行いました。皆さん〜共に・・・医療を支えていきましょう。



衛生技術科34期生

柳田 絵美衣

東京都

超落ちこぼれ学生だった柳田と申します。先生方、同級生のみなさん、柳田は臨床検査技師として生きていますよ！趣味は学生の頃から変わらず自動車（愛車は 180sx）に加えて、「仕事」が増えました（笑）。学会などで、「私も常盤の卒業生だよ」と声をかけてくださる先輩方がいらっしゃいます。一気に親近感が湧き、勇気づけられます！先輩方、後輩の皆さん、柳田を見かけたら勇気の出る合言葉「常盤の卒業生」と是非お声がけください。

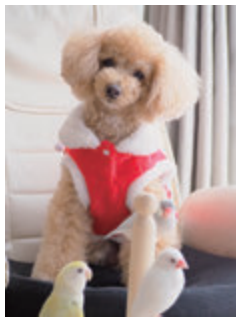
（SNS もやってますので、是非お近づきに。）



短期大学部看護学科通信制課程2017年度卒

藤井 絵理奈

岡山県



新型コロナ感染の拡大によって、私生活や仕事において様々なことに変化があった。娘の自宅学習を機に文鳥の雛を迎え、すっかり鳥の魅力にはまったことが大きい。3 羽に増えた鳥が家の中を飛び交い、犬がその姿をゆったりとした表情で眺めているのを見ると、コロナによる鬱々とした気持ちが吹き飛んでいく。

職場ではコロナチームに配属された。今後の不安は大きい、姿は小さくても大きな癒しをくれるこの子たちに、感謝の思いで日々を過ごしている。

衛生技術科21期生

高木 繁

島根県

卒業してから 30 年が過ぎ、あと何年で定年なんだろう！そんなことを考える年になってきました。高校卒業後、臨床検査技師を目指し神戸の地にやってきました。数少ない男性の同級生とやさしい先輩に囲まれながら楽しい毎日を送った日々を思い出します。卒業後は地元（島根県松江市）に戻り現在に至るまで臨床検査技師を続けています。

そして今、新型コロナウイルスが世界的に蔓延しウィズコロナの生活を余儀なくされています。検査室もコロナに対応する為、抗原定量検査や PCR 検査装置を導入し自分たちにできる形で戦っています。

昨年の秋、庭で野良猫が赤ちゃんを 3 匹産み、母猫は育児放棄の上、姿をくらましたので家族でミルクをやりながら猫の成長を感じつつ癒しをもらっています。やんちゃな猫たちですが甘えてくる姿をみると何とも言えない可愛さを感じています。この子猫たちよりも長生きできるように健康に気を付けて過ごしていきたいと思います。





衛生技術科21期生 木田 吉人

兵庫県

卒業して 32 年、神戸市灘区の兵庫県予防医学協会で健診業務を担当していますが、最近
は自分の体調変化を感じ、出来るだけ歩くことを意識しています。

ちなみに 9 年前に、子供達と一緒に世話すると決めて柴犬（サブロー）を飼いました。で
も次男は愛知県の自動車関連、長男はハウスメーカーに就職が決まり、結局は僕が散歩して
います。

これからは自分の健康のためにも、愛犬の散歩を続けます！

衛生技術科27期生 永谷 たみ(旧姓 長谷川)

兵庫県

私は卒業して 25 年、臨床検査技師として姫路赤十字病院で働いています。コロナ禍も
気がつけばもう 2 年になり、勉強会や学会は中止や WEB 参加。出かけることもなく、週
末はおうちで家族そろってご飯を食べることが増えました。

ある日娘が、お土産のケーキやおいしいお菓子が少なくなったなあと。確かに出かけな
いからお土産がない！！

今年は、たくさん頑張る子供たちと、お誕生日以外にも、部活やお習字頑張ったね♪ 試
験頑張ったね♪ とごほうびスイーツ満喫しています。



保健科学部看護学科10期生

洞ヶ瀬 有

兵庫県

私は今年度から看護師として働き始めました。日々仕事に追われていますが、私な
りに精一杯頑張っています。

コロナも以前に比べれば落ち着き少しずつ外出できる日も増えてきました。そんな
中で私はハリネズミカフェに行き、可愛い動物に癒されています。今後はもっといろ
んな場所へ旅行へ行きたいです。

衛生技術科6期生 田端 省三

兵庫県

この道を通して本学へ進学してから50年経った。それは日本海の見えるバス停からスター
トした。海から海の見える神戸まで。久しぶりに、この坂道を歩くと様々な思いが過る。入
学後「小さくてもキラキラ輝く大学」になろうと聞いた鮮明な記憶がある。それは今もとき
わびとに受継がれている様に思う。臨床検査室もアナログ時代からデジタル化へ、定年を迎
える頃には臨床検査室は世間から見えないブラックボックスになった様だ。再任用を終えた
頃に新型コロナウィルス禍を迎えた。そんな時期に、実家から一歩踏み出した一年生の自分
のAvatarを想像すると、今更ながらに「時間を大切にせよ」と言われているようだ。



■ 準会員

保健科学部医療検査学科3年 鹿谷 美空

コンソーシアムひょうご神戸のネパー
ル研修に参加し、日本では経験できない
ようなさまざまなことをすることができ
ました。ネパールは発展途上国というこ
ともあり主要な道路は広く舗装されて
いる部分もありましたが大きな段差や陥没
があり、雨の後は大きな水溜りができて
いたり、病院見学では明らかな人手不足やし
っかりとした感染対策ができていないと感
じました。また、実際にネパー
ルの学生さんのみなさんと下水を採取し、
水質調査を行いどのくらい汚染されている
か調査し下水だけでなく、生活水も汚染
されていることがわかりました。研修に
参加しネパールでの生活や文化などにつ
いて貴重なお話を聞くことができ、文
化や価値観の違いを理解しながらグロー
バルな視点を身につけることができ、と
ても良い経験になりました。



2021年4月、私たちは若い世代の新型コロナウイルス感染が拡大している状況を踏まえ、兵庫県神戸県民センター県民交流室と連携し、感染症防止対策の訴求を図る動画の作成・配信、さらには神戸市内の高校生へ向けた新型コロナウイルス感染防止出前講座（ストップコロナ・エバンジェリスト「伝道師」プロジェクト）を行いました。この取組みは兵庫県のホームページの他、新聞やテレビなど各種メディアを通して多くの方々の目に触れることとなりました。今後、医療従事者として働くこととなる者として、同世代に向けた感染防止の呼びかけを行うことは、自分たち自身の生活や感染対策を改めて見直し、気を引き締める良い機会になったと思います。



■特別会員

細胞検査士養成課程が開講し11年が過ぎた。当初、難関試験挑戦に不安があったが、各方面から手厚いサポートをいただき合格率100%を維持している。お陰様でこれまで134名の細胞検査士を送り出すことができた。教育には「ときわびと」の献身的なお力添えをいただいている。大阪医科薬科大の石崎さん、神戸医療センターの糸山さん、大阪労災病院の三村さん、兵庫臨床検査研究所の川嶋さん、神戸市立西市民病院の山下さん、兵庫医科大学病院の中村さんらには初期からお世話になりこの場をお借りし感謝申し上げます。今年度は「合格率の高い常盤で学びたい」と信州大学の学生から申し出があり研究生として迎えた。今後とも卒業生たちの益々のご活躍とご発展を願っております。



2008年4月、本学が「神戸常盤大学」としての新たな歴史が始まった年、同じく開設された短期大学部口腔保健学科に教員として就任し今年で14年が経ちました。兵庫県下で初の短期大学による歯科衛生士養成に関わりたという強い思いで、臨床を離れ教員として歩むことを決意しました。人々の健康を支えることができる歯科衛生士は、「専門性が高くやりがいのある素晴らしい職業」ということを学生に伝え、専門職としての自覚と責任を持って活躍してほしいと願い教育してきました。今まで700余名が巣立っていききましたが、歯科医院だけでなく、病院や行政、高齢者施設、企業、また教育現場で教員として活躍している者もいます。卒業生の成長した姿を見ることが教員として何にも代えられない喜びです。

14年間の経験と実績のもと、口腔保健学科全教員の念願であった四年制教育が始まります。「神戸常盤大学 保健科学部 口腔保健学科」として新たなスタートです。医療・介護・福祉など幅広い分野で活躍できる質の高い歯科衛生士の養成に尽力していききたいと思います。

“つぶやき”原稿の募集

毎号、設けているコーナーです。会員の皆様からのメッセージを掲載し、懐かしいお名前を見付けて、旧友を思い出したり学生時代を偲んだりして頂けるのではないかと思います。趣味や娯楽のこと、日々ふと気づいたこと等、何でも気軽に投稿して下さい。写真を添えて頂くとより嬉しいです。(約200字程度)
※時期を問わず、同窓会事務局に郵送、電子メール、ファックス等でお送り下さい。

同窓会開催補助のお知らせ

同窓会本部では、同期会や学部、学科、クラスまたクラブや同好会などの同窓会開催を支援しています。詳しくは同窓会ホームページをご覧ください。同窓会事務局にお問い合わせ下さい。
新型コロナ終息後には、是非、集まりを計画して頂き、旧交を温めて下さい。

国際交流センターより

ネパール派遣研修等について

本大学とネパール・カトマンズ市のハチガンダ福祉協会（住民の医療と生活向上のためボランティア活動を行う NGO）は 1997 年より隔年で研修生の相互派遣を行っており、同窓会もこの交換研修に協力してきました。しかし、COVID-19 パンデミックにより、2020 年 12 月に予定していたネパール派遣研修プログラムが中止となり、未だ再開できない状況です。そこで、国際交流センターは交換研修が過去 20 年以上にわたり続いている強みを生かし、これまでに参加・受入した学生が中心となって、多くの学生が気軽にネパールの文化等に触れられる機会を設けるためネパール交換研修オンライン勉強会（OSEP）等を開催してきました。

同窓会も学校と協力し、今後もこの活動に支援を続けていきたいと考えています。

【勉強会の様子】



2021 年 3 月 10 日（水）

- ・ネパール交換研修オンライン勉強会
- ・オンラインで両国を繋ぎ、ネパールと日本のコロナ禍における現状をそれぞれの立場で発表し合うことにより、両国の違いを認識し国際理解をより深める
- ・発表学生 11 名、視聴学生 12 名

2021 年 12 月 20 日（月）

- ・ネパール語勉強会
- ・在日ネパール人である Mr. Padhya Dharma Raj を招き、日常会話や文化について勉強会を開催。国際理解をより深める
- ・看護学科 4 年 1 名、3 年 6 名

2022 年 2 月 22 日（火）

- ・ネパール交流会
- ・本学と包括連携協定を結んでいる公益財団法人神戸国際コミュニティセンター（KICC）と共催で在日ネパール人を招き、本学学生と交流するプログラムを企画
- ・日本側 24 名、オンラインでネパールからも多数参加

基盤教育科目「国際理解」の開講について

2022 年度より海外に行くことに興味のある人、また、異なる文化に触れてみたい人などを対象に、国際交流センターが主体となり基盤教育分野科目「国際理解」を開講します。この科目は異なる文化的背景や価値観を持つ人々と共生する受容力を身につけることを目的に、異文化体験をしたゲストスピーカーの講義を聴き、多文化共生について理解を深めるものです。

将来的には、多様な経験を積まれた同窓生の皆様をゲストスピーカーとしてお招きできればと考えておりますので、その際はご協力の程よろしくお願い致します。

国家試験の合格率と就職率の情報

■ 令和3年度就職状況(R4.3.31現在)

	卒業生数	就職希望者数	内定者数	内定率(%)	
医療検査学科	91	91	79	86.8	進学者1名含む
看護学科	89	88	88	100	進学者1名含む
こども教育学科	73	70	70	100	進学者1名含む
口腔保健学科	74	74	62	83.8	研修生1名含む

■ 令和3年度国家試験合格率

	受験者	合格者数	合格率(%)	全国平均(%)
臨床検査技師	91	79	86.8	75.4
看護師	88	84	95.5	91.3
保健師	31	27	87.1	89.3
歯科衛生士	74	74	100	95.6
看護学科通信制課程	93	70	75.3	86.2(新卒平均)

お知らせ

令和4年度同窓会総会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたします。
令和4年度予算は、総会の承認を得ることなく執行されますことをご了承ください。

令和3年度 神戸常盤大学 同窓会 収支報告書

一般会計

■ 収入の部

	令和3年度予算	令和3年度決算	差引額	備 考
前年度繰越金	10,074,720	10,074,720	0	
会費収入	同窓会会費	8,500,000	8,540,000	40,000 通学生425人と通信生4人
	受取利息	1,000	494	-506
雑収入	特別会計の収入等	0	54,714	54,714 備品購入積立から
収入合計	18,575,720	18,669,928	94,208	

■ 支出の部

	令和3年度予算	令和3年度決算	差引額	備 考
本部費	小 計	5,200,000	2,805,936	2,394,064
	会議費	300,000	13,630	286,370 お茶等
	総会費	0	0	0 新型コロナウイルスの為に開催せず
	旅費交通費	500,000	108,420	391,580 交通費
	通信運搬費	250,000	61,338	188,662 役員通信経費含む
	印刷製本費	450,000	361,792	88,208 ときわびと印刷、封筒印刷
	事務消耗品費	100,000	49,236	50,764 事務用品、トナー代等
	渉外費	650,000	640,600	9,400
	諸謝金	600,000	525,890	74,110 事務局員給与等
	地域福祉活動費	200,000	0	200,000 オープンキャンパス・大学祭等参加なし
	名簿整備費	1,100,000	979,417	120,583 ときわびと発行費
	福利厚生費	100,000	0	100,000
	備品修繕費	100,000	55,264	44,736 同窓会室移転後備品購入
	会費返金費	300,000	0	300,000
	雑費	20,000	10,349	9,651 お茶等
	予備費	30,000	0	30,000
	同窓会費補助費	500,000	0	500,000 クラス会等助成(コロナ感染拡大のため滞り)
補助事業費	小 計	2,200,000	2,050,000	150,000
	国際交流事業費	500,000	500,000	0 大学へ寄付(ネパール派遣中止)
	地域交流事業費	500,000	500,000	0 大学へ寄付
	修学支援奨学金	1,000,000	1,000,000	0 大学へ寄付(新型コロナ支援)
	大学祭補助金	200,000	50,000	150,000 学生自治会へ寄付
積立費	小 計	400,000	400,000	0
	記念事業積立	200,000	200,000	0 特別会計へ積立
	備品購入積立	200,000	200,000	0 特別会計へ積立
定期預金		5,000,000	0	5,000,000
支出合計	12,800,000	5,255,936	7,544,064	

収支の部 収入額 ¥18,669,928 支出額 ¥5,255,936
次年度繰越金 ¥13,413,992

令和4年度 神戸常盤大学 同窓会 一般会計予算案

一般会計

■ 収入の部

	令和3年度予算	令和4年度予算	差引額	備 考
前年度繰越金	10,074,720	13,413,992	3,339,272	
会費収入	同窓会会費	8,500,000	8,500,000	0 2万円×通学生+1万円×通信生
	受取利息	1,000	1,000	0
雑収入		0	0	0 特別会計からの繰り入れ金等なし
収入合計	18,575,720	21,914,992	3,339,272	

■ 支出の部

	令和3年度予算	令和4年度予算	差引額	備 考
本部費	小 計	5,200,000	5,400,000	200,000
	会議費	300,000	300,000	0 御弁当等
	総会費	0	0	0 R4年度は中止
	旅費交通費	500,000	500,000	0 交通費
	通信運搬費	250,000	250,000	0
	印刷製本費	450,000	450,000	0
	事務消耗品費	100,000	100,000	0 事務用品、トナー代等
	渉外費	650,000	850,000	200,000 コンビニ新設祝い等
	諸謝金	600,000	600,000	0 事務局員給与等
	地域福祉活動費	200,000	200,000	0 オープンキャンパス・大学祭等
	名簿整備費	1,100,000	1,100,000	0
	福利厚生費	100,000	100,000	0
	備品修繕費	100,000	100,000	0
	会費返金費	300,000	300,000	0
	雑費	20,000	20,000	0
	予備費	30,000	30,000	0
	同窓会費補助費	500,000	500,000	0 クラス会等助成
補助事業費	小 計	2,200,000	2,200,000	0
	国際交流事業費	500,000	500,000	0 ネパール派遣費なし
	地域交流事業費	500,000	500,000	0
	修学支援奨学金	1,000,000	1,000,000	0 新型コロナ支援
	大学祭補助金	200,000	200,000	0
積立費	小 計	400,000	400,000	0
	記念事業積立	200,000	200,000	0 記念事業の補填なし
	備品購入積立	200,000	200,000	0
定期預金		5,000,000	2,000,000	(3,000,000) 昨年度の残金
支出合計	12,800,000	10,000,000	(2,800,000)	
次年度繰越金	5,775,720	11,914,992		

「監査報告:会計監査について、収支報告書・諸帳簿・預金通帳及び関係書類について監査を行った結果、その内容が適切かつ経理事務が正確であり、内容が詳細に整備されていることを認めます。／監事」

編集後記

2020年頃から始まったイジフルウィルスの所為で、同窓会室で行っていた理事会は、主にメールでやり繰りして運営していました。しかし、ようやくではありますが昨年よりオンラインでの開催をすることが出来ました。メールで何度もやり取りしながらとは違って、直ぐに意見交換もでき、理解の食い違いがあってもその場で話が出来るのでスムーズに会を進めることが出来ました。あと、距離的な都合が無くなるのも助かりました。ゆくゆくは対面とオンラインのハイブリッドで行う形が役員の負担軽減にもつながればいいと思います。末尾になりましたが、今回つづやきに投稿していただいた皆さん、本当にありがとうございました。



〒653-0838 神戸市長田区大谷町2-6-2
神戸常盤大学内 火・金の13～16時のみ開室
TEL/FAX (078) 642-0625
E-Mail : dousou@kobe-tokiwa.ac.jp

同窓会ホームページアドレス
<http://www.tokiwabito.com/>
神戸常盤大学ホームページアドレス
<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/>

発行所／神戸常盤大学同窓会 責任者／岡部 文雄 2022.3.31(第37号)